

昭和二十五年四月六日提出  
質問第一一四号

教員としての不適格性の認定に関する再質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和二十五年四月六日

提出者 今野 武雄

衆議院議長 幣原喜重郎 殿

## 教員としての不適格性の認定に関する再質問主意書

一 小林教官は、さきに全文を記した「学級しんぶん」の記事によつて、学校当局から、「学級しんぶん」の指導が不適當であると断定されているが、政府はこの断定についていかに考えるか。

二 かかる断定に基いて小林教官はかく首されているが、このかく首について政府は、いかに考えるか。またいかなる措置をとるか。

三 政府は正確な資料に基いて、ソビエト連邦、中華人民共和国その他について肯定的に論評することは、学校の政治的中立性を害うものと考えるか。

四 政府は、不正確な資料に基いて、ソビエト連邦、中華人民共和国その他について否定的に論評することは、学校の政治的中立性を保持するものと考えるか。

右質問する。